

避難所設置は バランスよく！

坂本 早苗議員



坂本 野々島公民館を防災拠点センターとする計画の内容は。他にも防災拠点センターを建設するのか。

生涯学習課長 野々島公民館は平成29年度に建て替えを計画している。今回の地震を踏まえ防災機能を有する施設にしようと検討を始めている。黒石市民センターの建て替えも国交省の補助金が使えれば防災拠点施設として整備を考えている。

坂本 自主避難所9カ所のうち西合志地区6カ所、合志地区3カ所です。バランスが悪い。今回の地震で避難所が近くにあることはどれだけありがたいか実感した。合志地区にも防災拠点センターの建設が望まれる。
市長 防災計画を立てる中で長期計画を立てる必要がある。バランスも加味していきたい。

大規模校解消はどうなったの？

坂本 平成31年度から合志市内の全ての学校で小中一貫教育を進める計画がある。学校関係者に対する説明、理解はできているのか。

学校教育課長 小中一貫教育の実施は平成28年3月に教育委員会決定し、4月の校長会で周知を行った。

坂本 西合志南中学校区、合志中学校区では小中一貫校になるとそれぞれ2700人を超える規模になる。このような大規模で教育の成果を上げることができるのか。

教育審議員 学校の規模に係わらず小中一貫で取り組む内容は変わらない。大規模校では児童生徒数は増えるが教職員の数も増える。

坂本 本市には平成33年4月小学校・中学校新設という大計画がある。給食センターの問題も残っている。このような時期になぜあわてて全校での小中一貫教育を進めるのか。もっと慎重に検討してほしいか。

教育長 小中一貫は唐突に出てきたものではない。前の教育委員会の中でも十分に温められてきた課題とされている。



災害に強い まちづくりについて

松井美津子議員



庫を整備している。



防災倉庫(合志庁舎裏)

松井 体の不自由な方や介護の必要な人、知的・発達障害の方が安心して暮らせる福祉避難所について。
福祉課長 地震や急な災害に迅速に対応できるように市と協定先の連携を強化し、福祉避難所の検討をする。

松井 ペット同行避難について。
総務課長 ペット避難については屋外にスペースを確保し、条件整備を行い検討していく。

松井 災害時の備蓄と防災倉庫について。
総務課長 災害時の備蓄について毛布、マット、飲料水等の備蓄を今後進める。コンテナ4基をふれあい館、みどり館、須屋市民センター、泉ヶ丘市民センターに設置し、西合志庁舎、合志庁舎と6カ所に防災倉

庫を整備している。
松井 非構造部材の耐震化について。
学校教育課長 見える範囲すべてが非構造部材になるので対応したい。
松井 被災者の生活支援、合志市災害復興商品券助成事業について。
商工振興課長 災害復興商品券の助成金額に市内と市外業者に差があったが、市内も市外も同様の額の助成を検討する。

松井 改正発達障害者支援法の法改正をきっかけに教育現場でのオーダーメイドの個別の支援計画について。
学校教育課長 各学校において支援計画、指導計画を作成して児童生徒の対応を行っている。

市民参加のまちづくりへ 積極的な情報公開を！

齋藤 正昭議員



齋藤 合志庁舎の増築事業が予定されているが、「合志市自治基本条例」や「合志市総合計画」の基本方針である「市民への積極的な情報公開」達成に向けて、増築庁舎にインターネット中継・録画などの環境を備えた会議室の計画はあるか。



議会の一般質問を自宅(パソコン)で視聴する市民

企画課長 会議室などへの動画撮影、中継、配信などの環境整備については現段階では予定していない。

齋藤 市には約50の委員会や審議会等があり、そのほとんどが傍聴可能な会議だが、平日開催も多く、ほとんど傍聴者がいない状況だ。学校分離新設など市民の関心が高い会議も多く、積極的な情報公開は喫緊の課題だ。今後、設置する方向での検討は。

政策監 時代に合った効果的、効率的な情報発信について前向きに検討したい。

齋藤 熊本地震を受けて、市建築物耐震診断事業の予算拡充は考えているか。また被災した自治公民館を優先的に対応できないか。

都市計画課長 28年度募集2件に対して61件の電話受付を行った。国の交付金枠が27件追加されたため補正予算で拡充した。自治公民館要望の1区についても今年度で対応したい。市の現在の耐震化率は約74%である。

齋藤 熊本地震により、昨年度策定した財政計画の大きな見直しと経費削減に向けた職員の意識改革が必要と考えるが。

市長 職員の育成には総合支援職としての課長の働きが重要と考える。庁内情報の共有を図り、復興計画の中で財政を論じていきたい。

齋藤 竹迫地区土地区画整備事業や北熊本スマートインター開通に向けて、幹線道路の渋滞解消に早急な取り組みが必要と思うが。
市長 国、県、熊本市への要望も含めて、今後もしっかり協議していく。

正念場を迎える 生涯学習の現場

上田 欣也議員



上田 歴史資料館と郷土資料館の統合に向け、具体的な検討はできているのか。

生涯学習課長 文化財保護委員会の意見を踏まえ、それぞれの館を一本化してウィーブルの3階歴史資料館に集約することになっている。

上田 ウィーブルの歴史資料館の再開にはまだ1年以上かかる。総合計画にある「郷土を知り、郷土を誇りに思う市民の郷土愛の醸成」に空白期間が生じるのではないか。
生涯学習課長 ふるさと探訪バスや出前講座の活用をお願いしている。



閉館中の西合志郷土資料館

上田 マンガミュージアムのオープンまでのスケジュールは。
政策課長 現在、西合志郷土資料館の改修設計を進めている。8月末から収蔵資料を搬出、9月以降工事に着手したい。来年夏のオープン予定

である。
上田 マンガミュージアムの位置づけは。
政策課長 まち・ひと・仕事総合戦略の基本目標「移れる地域産業をつくる」「新しい人の流れをつくる」という基本目標のもとに、アニメ・マンガを活かしたまちづくり推進事業に取り組み、地方創生の戦略である。

上田 図書館の指定管理について、スケジュールと補正予算の内訳は。
生涯学習課長 平成29年4月から3館に指定管理を導入する予定で、予算は3年間で3億1500万円。内訳は館長や統括責任者、副統括責任者、司書等の人件費と施設の維持管理、現在行っている事業を継続するための経費である。選定委員会を経て指定管理者を決定、12月議会上程の予定だ。1月から3月までを引き継ぎ期間として、3月に協定を締結する。ウィーブル館についてはそれまでに復旧が完了するように工事を進めていく。